

「教育環境の再編」これまでの取組

生野区では、クラス替えができない学年がある 11 学級以下の小学校を、教育環境に課題を抱える小規模校として定義し、適正な教育環境の確保に向けた取組をすすめることを柱とした「**大阪市学校適正配置審議会答申（平成 22 年 2 月）**」に基づいて、取組を進めてきました。

時 期		内 容		結 果
24 年 度	2 月～	区長が区内全小・中学校を訪問し、学校長や PTA 役員等就学制度や教育環境等について意見交換を実施（小学校 19 校、中学校 9 校）		
	6 月	区内小・中学校の通学区域や児童生徒数、施設規模に関する「3つの大きな課題」を公表		
25 年 度	6 月～7 月	生野区学校教育フォーラム 「これからの子どもたちのための教育環境を考える～小・中学校の通学区域や児童生徒数の現状と課題～」	計 2 回 のべ 35 名参加	
	7 月～9 月	夏休み出前講座「みんなで考えよう教育環境」	のべ 65 名参加	
	11 月～ 12 月	「生野区小・中学校教育環境再編方針（素案）」を策定、パブリックコメントの実施		
	12 月	生野区学校教育フォーラム 「～未来の生野区のために、いま子どもたちにできること～」	計 2 回 のべ 75 人参加	
	3 月	【参考】「大阪市立小学校 学校配置の適正化の推進のための指針」を策定（教育委員会）		
		生野区小・中学校教育環境再編方針「学校配置の見直しについて」を策定		
26 年 度	5～7 月	生野区小・中学校教育環境再編方針「学校配置の見直しについて」説明会	西側全 11 小学校 のべ約 650 名参加	
	9 月～ 10 月	出前講座「生野区小・中学校教育環境再編方針『学校配置の見直しについて』」	計 2 回 のべ約 90 名参加	
	27 年 度	2 月～8 月	「これからの教育環境を考えるワークショップ」	・参加者 Aブロック：28 名 Bブロック：35 名 計 6 回 のべ 146 名参加 ・関係者 のべ 50 名参加
7 月		「生野区西部地域教育特区構想」を策定		